



# ハカルワカル広場だより

八王子市民放射能測定室 第 41 号 2023.3.20 発行

発行元 八王子市民放射能測定室 ハカルワカル広場  
〒192-0053 八王子市八幡町 5-11 八中ビル2F

HP <https://hachisoku.org> ① [hachisoku@gmail.com](mailto:hachisoku@gmail.com) ② 042-686-0820

ゆうちょ銀行振替口座:00180-8-290904 八王子市民放射能測定室

他行からは ゆうちょ銀行:018-0224460 八王子市民放射能測定室



11 月お茶会

「かくれキニシタン」と「たたり神」

関 久雄(二本松市)

## [コロナと保養の記録映画]

私は 2011 年から佐渡ヶ島で保養を行っている。保養とは、①放射能の高い地域から離れ、②福島ではやりにくい外遊びなどをやり、③汗をかいて体から放射性物質を排泄することだ。これまで、毎年、1 万人以上の人たちが保養に出かけていた。チェルノブイリ原発事故があったウクライナやベラルーシでは国の事業として保養が取り組まれていたが、日本は民間の善意のみ。さらに、日本は基準を 20 倍に引き上げ、福島で暮らせるとして支援を打ち切り事故は終わりにされようとしている。そんな中、2020 年から始まったコロナ禍で保養は激減。「県をまたぐな、自粛しろ！」の空気感の中で、保養をやったのは数団体。私たちは、「コロナも保養も基本は免疫力をあげること」だからと実施した。この異常な状況を記録しておこうと映画作りに取り掛かり、以前、寄付集めで叩かれたことを題材にした。

## [詐欺師？風評加害者？]

2017 年、「汚染地域に暮らす、福島の子どもの心と体に元気を取り戻したい」として保養の費用をクラウドファンディングで集めている時に、ネットで大量にバッシングされた。その数 100 件以上。「福島のどこがいま危険なんだ。(線量は)県外も県内も変わらないぞ。学習しないにも程がある。関は、不安を煽って金を集める詐欺師だ」とあった。確かに空間線量は下がったが土の中のベクレルは違う。



映画「かくれキニシタン」より 新潟県佐渡島での保養活動の様子

当時、私の家の屋根に降った土は数千ベクレルもあった。一方、「まだ放射能、気にしているの?」と言われてたりするから被ばくの不安を口に出せない人もいる。さらに、「保養に行くのは福島が危険だから出るという行為で風評を煽る。やるべきではない」という発言もあり、見えない対立と分断が生じている。私も駅前でのスタンディングで、「お前らが風評まき散らしてんだ!」と怒鳴られたこともあった。

### [被ばく地で暮らす基本]

今年の春以降、国はデブリを冷やすことで出た汚染水を海に流す計画で、また、「食育」と称して学校給食に海産物を提供し、子どもに食べさせ安全性をアピールしようとしているが、それでいいのか。事故後、子どもに弁当を持たせた家庭もあったが、回りとの関係で辛い経験をした親子もいた。放射能に対しては様々な考えがあるが、基本は多様性を認めることで、国に「安全」を押し付けられ、子どもを利用されたりするのはごめんだ。

2月7日のニュースで、福島県沖のスズキから80ベクレルの放射能が出て出荷停止になったとあったが、これが現実。簡単に海に流してはならない。福島で暮らす基本とは、身体、土、野菜や米、魚などのベクレル数を測り記録し考えて行動することと思う。その基本になる調査もせずに「安全」と言い、異議を申し立てると「風評加害」と言って不安を感じる人を叩く者が出てくるということは、社会は全体主義に陥っているのではないか。声を上げなければならない。放射能は知らず知らずに体に忍び込む「たたり神」のようなもの。だから海に流してはならないのだ。

たたり神 関 久雄 2013年3月19日

おばあちゃん あれは なあに  
 あれは ゲンパツのお墓  
 青い袋の中には  
 草や花や土や ミミズが虫がビセイブツが  
 ホウシャノウと一緒に閉じ込められ  
 とてつもない ホウシャセンをあびながら  
 袋の中で うめいている  
 ほら 声が聞こえるだろ  
 痛いよ痛いよ 苦しいよ苦しいよ  
 あのものたちは わたしたち  
 袋の中から 出されない  
 ごらん 黒いゴムで覆って  
 回りを鉄の板で 囲んでなぞしているが  
 なあに いずれあのものたちは  
 袋を食い破って外に出て  
 たたり神となって動き出すさ  
 風になって 雨になって  
 けものになって 草になって  
 米になって 魚になって  
 生き物の中に 忍び込む  
 おばあちゃん たたり神は なくなるはないの  
 あれは にんげんが こさえたものだからね  
 お前は 遠くに行きなさい  
 見たこと 起きたことを伝えなさい  
 わたしはここで たたり神をまつろう  
 そして 考えなさい  
 なぜ たたり神が生まれるのかを



## 【参加者アンケート抜粋】

- ◇ 東電、国が責任を取らないために被災者の中に分断を生み、自分の本当の思いを隠して暮らしていかねばならない福島の方々の辛い思いを聞かせて頂きました。関さん自らが朗読して下さった ”ゆっくり坂道をくだって”は光景が目には浮かび涙しました。福島で暮らす基本とは、「測る、記録する、考える」と話されましたがハカルワカル広場の思いと同じだと思いました。
- ◇ 「気にする人たち」と「気にしない人たち、あるいは気にしないようにしている人たち」の考えていること、願っていることは、それほど大きく違わないような気がします。「あんな事故は二度とおこらない世の中になって欲しい」という願いは共通です。
- ◇ 日々の鬱屈した思いを語る母親の言葉に、何故被害者なのに被ばくを隠れて語らなければならないのか？と疑問を抱かずにおれなかった。そのこと自体が私たちの社会の問題だと思った。
- ◇ 耐え難い状況の中で何とか生き続けなければならない被害に遭われた方たちの断腸の苦しみに終わりが見えない今の状況。関さんの作られた詩「一緒に泣くこと・・・」本当に泣けます。泣くこと以外にほとんど何も出来ない自分にも泣けます。 関さんの活動を支えている愛の力に感動しながら、共に泣く事だけが今の私に出来ることかもしれません。
- ◇ 訥々と心にしみるお話と保養の様子がよくわかる映画をありがとうございました。原発事故→コロナ感染⇒戦争、この次にはきっと希望があると願っています。
- ◇ 私どもの東京練馬の保養プロジェクトは今年夏に 3 年ぶりで規模を小さくしてサマーキャンプを行いました。「保養はリセットできる場」ということをあらたに思いました。
- ◇ 映画ではミュージカルをやっている女性が、理解ある人たちに囲まれて 1 年半たったとき、一人でも声を上げなきゃ、現実を見つめなきゃ、と気づき声に出してみたら意外にみんなと原発や政治の話ができて嬉しかったというところに希望を感じました。
- ◇ 原発事故当時、福島から避難したくてもできなかった方たちへばかり思いを寄せていましたが、避難した方たちも辛い経験をされていたんですね。
- ◇ 福島の子どもたちが欲しいのは、当たり前前の平和。映画「かくれキニシタン」は、保養所や農場、にぎやかな子供たちの映像であふれていますが、福島で生きる人々の日常をリアルに想起させます。わたしたちは、隠されていく事実を見過ごさないで、もっとお互いに優しくありたいと思います。
- ◇ 原発事故の被災者に対して思っていることは「あんなに放射能が多いところには戻らないほうがいい」ということと「ふるさとに戻りたいのなら何とかして戻してあげたい」という相反することです。私の本音は「すぐには元には戻らないだろう」ということです。「まだよくわからないことに対しては動きを止めたほうがいい」ということです。

## 関久雄さんプロフィール



1951 年岩手県生まれ。70年代に学生運動や労働運動を体験するもその後ヒマラヤ登山に転向。1983年、ヒマラヤでの転落がきっかけで無農薬野菜の八百屋を始める。1986年チェルノブイリ原発事故をきっかけに非暴力で原発を止める運動に参加。1994年、福島県の二本松に移住。「3・11」後は放射能から子どもを守る活動を担い、佐渡に「保養センターへっついの家」を設立。詩作や「灰の行進」などを通して「福島のいま」を伝える活動に関わり続けている。現在、NPO法人ライフケア代表。著書「なじよすべ」(彩流社)、「原発いらない、命が大事の歌」(1~4)など。

# ハかってワかった話（最終回）

二宮 志郎

大勢のみなさんの励ましで今まで連載を続けてきました。連載を続けたいという気持ちはしっかりあるのですが、最近では測定データを眺めた時に「わかった」という新鮮な発見がないところで無理に書いている感じが拭えず、紙面をいただいているのが申し訳ない思いがありました。

悲しい現実ではありますが、現状の微量汚染状況は異常時ではなく平常時と化してしまいました。平常時の測定は、平常時を知ることによって異常時を捉えることができるという大きな意味がありますが、日々の測定活動は地味な作業の継続になります。この連載は今回で最終回にして、今後は地味な作業を支えることを考えていきたいと思えます。

## れんこん、2Bq/kg

過去4ヶ月のデータを眺めて、少し気になったのが昨年11月10日に測定している茨城産れんこんです。Cs137が2Bq/kg、Cs134は不検出となっています。この微量測定はAT1320Aで不可能でEMF211で測定できた数値です。

数値を見ただけの時は、かなり疑いの目で見ていたのですが、右のスペクトルを見て、自然放射能の影響は小さい中でCs137の662keVのピークを検出しているのでも本物のCs137が検出されているようです。

それにしても2Bq/kgという微量をよく検出したもので、EMF211の性能は大したものです。もう少し大きな数値であれば、過去の測定経験を考慮して、ありえる数値かどうかを考察できるのですが、2Bq/kgとなると、過去には全て不検出で扱ってきた領域なので、経験から語れることがほとんどありません。

ネットで調べてみると、「バぐれでねが」で、「2019年10月購入 茨城県土浦市産 レンコン」を濃縮測定して、Cs137が10.6Bq/kgという結果を得ています。意外に高い数値でびっくりです。この数値があるなら、今回の2Bq/kgは驚くにあたらないとい

うことになりそうです。パルシステムの「放射能レポート2020年2月」で、茨城のれんこん農家の苦労話が紹介されていて参考になりました。検出下限値3Bq/kgで2019年にほとんど検出されていないということですが、2Bq/kgとなると、ありえない数値ではなさそうです。

## 2Bq/kg と向き合う

表土の流れでセシウムが減る場所はこの10年の間にほぼ減ってしまっているの、今残っている場所は、自然の循環の中で安定してしまっていると考えた方がいいでしょう。ですからCs137の半減期30年で減る分以上の減少はあまり期待できないでしょう。この数値を平常時として受け入れて向き合うしかありません。れんこん農家の苦労話があって、その上で2Bq/kgという数字が達成できていると理解できるのですが、そんな苦労やこの2Bq/kgをなぜ平常時にしてしまわなければいけないのでしょうか。本当にこれがみんなにとっての平常時なのかどうか、考え続けることが向き合うことではないかと思えます。

## 余談

つい最近、海外出張から帰国する時に中国上空を飛んだのですが、運良く天候に恵まれて、中国の大地をよく観察できました。人々は広大な大地のあらゆるところで生活を営んでいるもので、そのたくましさを感じたのですが、同時に下の写真がスマホの望遠で撮れました。巨大な蒸気タービン排気筒から水蒸気が出ているのが見えますから稼働中の発電所のように。スマホのGPSから香港の北東、江西省の南部あたりを飛んでいたことがわかります。家に帰ってからいろいろ調べてみたのですが、そのあたりに原発があるという話はないので、火力発電所であったのだらうと思えます。

蒸気タービン排気筒以外にもモクモクと煙を出している煙突があるところが火力を示しているのでしょうか。あの煙がある状況を平常時にしてきたというのも、現実です。



## Atomtex AT1320A 測定結果(2022年11月～2023年2月現在)

ゼオライトのCs134 初期値引き算前(Cs134 初期値は 30Bq/kg 程度) 不検出は記載していません。

検体	採取	県名	採取地	検体重量 (g)	測定容器 (cc)	Cs137 Bq/kg	95%範囲 ±Bq/kg	Cs134 Bq/kg	95%範囲 ±Bq/kg	備考
崖下の土	2022.12.12	東京都	八王子市北野台	1020	1000	254.0	51.0	16.4	4.3	モニター
お茶	2012年	静岡県		348	1000	192.0	40.0	11.6	以下	
土	2021.4.22	東京都	八王子市東浅川	466	1000	159.0	33.0	36.2	9.8	モニター
土	2021.7.3	埼玉県	東松山市	477	1000	154.0	32.0	20.5	6.9	モニター
土	2021.4.27	東京都	八王子市寺田町	667	1000	152.0	30.0	26.5	7.1	モニター
里山の土	2023.1.31	東京都	八王子市中山	794	1000	142.0	28.0	16.5	4.8	モニター
里山の土	2023.1.31	東京都	八王子市中山	744	1000	134.0	27.0	14.3	4.6	モニター
里山の土	2023.1.31	東京都	八王子市中山	690	1000	128.0	26.0	5.6	以下	モニター
土	2022.12.2	東京都	八王子市緑町	492	1000	122.0	26.0	18.0	6.5	モニター
里山の土	2023.1.31	東京都	八王子市中山	677	1000	120.0	24.0	5.7	以下	モニター
土	2021.6.27	東京都	新宿区	558	1000	98.0	20.9	18.9	6.1	モニター
土	2023.1.17	東京都	八王子市	864	1000	88.8	18.6	35.9	8.3	容器別測定
里山の土	2023.1.31	東京都	八王子市中山	578	1000	88.1	18.8	6.7	以下	モニター
土	2022.11.1	東京都	八王子市八幡町	1262	1000	79.7	15.9	17.8	4.5	モニター
里山の土	2023.1.31	東京都	八王子市中山	799	1000	75.0	15.6	4.8	以下	モニター
里山の土	2023.2.21	東京都	八王子市中山	520	1000	66.4	15.2	17.6	6.3	モニター
土	2022.12.9	東京都	八王子市打越町	1147	1000	55.4	11.7	14.4	3.9	モニター
庭の土	2022.11.29	東京都	八王子市北野台	1040	1000	52.1	11.0	3.6	以下	モニター
土	2023.1.17	東京都	八王子市	864	500	47.5	9.8	2.5	以下	容器別測定
土	2023.1.17	東京都	八王子市	1728	1000	44.6	9.1	2.3	以下	容器別測定
土	2023.1.17	東京都	八王子市	861	500	39.1	8.6	10.8	3.6	容器別測定
土	2023.1.17	東京都	八王子市	864	500	38.9	9.8	11.1	5.3	容器別測定
土(苔付き)	2022.11.8	東京都	八王子市打越町	901	1000	35.4	7.7	10.7	3.1	1時間測定
ゼオライト	2023.1.15	東京都	八王子市長房町	992	1000	28.2	7.4	35.6	8.2	
田んぼの土	2022.11	東京都	町田市相原町	1320	1000	22.7	5.7	19.1	4.7	モニター
田んぼの土	2022.11	東京都	町田市相原町	1126	1000	19.4	5.2	17.4	4.5	モニター

測定室からのお願い 測定検体の容量は、0.5リットルまたは1リットルです。多めにお持ちください！

## EMF211 測定結果(2022年11月～2023年2月現在)

不検出は記載していません。

検体	採取	県名	採取地	検体重量 (g)	測定容器 (cc)	Cs137 Bq/kg	95%範囲 ±Bq/kg	Cs134 Bq/kg	95%範囲 ±Bq/kg	備考
お茶	2012年	静岡県		462.6	1500	220.19	3.54	6.06	1.75	
掃除機のゴミ	2023.1.19	東京都	八王子市絹ヶ丘	78.3	500	27.21	7.79	12.71	以下	2時間測定
掃除機のゴミ	2022.11.30	東京都	八王子市片倉町	333.3	1000	21.66	1.77	3.24	1.80	モニター
カマス2匹	2022.12.15	東京都	京浜運河	240.1	350	5.19	2.16	5.28	2.48	2時間測定
シイタケ	2022.12.16	埼玉県	埼玉県産	413.6	1000	3.21	1.68	3.76	2.04	1時間測定
れんこん	2022.11.10	茨城県		615.0	1000	1.98	0.79	1.41	以下	2時間測定
シイタケ	2022.12.16	埼玉県	埼玉県産	413.6	1000	1.84	0.56	1.02	以下	12時間測定
シイの実	2023.1	東京都	西東京市	373.5	500	1.16	0.74	1.37	以下	4時間測定

## 2月4日(土)お茶会「測定室プロジェクト発表会」

## 1. 11年目の土壌測定プロジェクト報告会

ボランティア 佐々木晃介

昨年の10年目報告会に続いて11年目報告書の説明を行いました。

## 読み解きガイド

昔のデータにも計算で登場してもらい放射能汚染の全容が見える化しました。

測定値  
2017年

残留値  
2022年

測った時から減った放射能を計算で求めた値  
(測定から2020年まで、2021年、2022年の3つに分けて計算)

**注目!**  
今残っているであろう値を計算で求めた値

もう  
2017年の土はないので  
計算して見える化

この残留値は計算値で、実際そこに残っている値ではない。自然の中で雨と共に放射能は動くので小まめに測定して確かめることが大切です。

注)ここで計算とは、半減期減衰計算のことです。

それぞれ違った時期に測ったものを比べて見る形にしたのがこの冊子です。  
土を分類して見るとおもしろい！ いろいろ見えておもしろい！  
グラフにデータ表を付けて分かりやすく見える化

11年目の土壌測定プロジェクト報告書 ダイジェスト版

土壌測定プロジェクトの目的は、放射能汚染の全容が見える化することです。説明会の出席者から、減衰値や残留値のことが良くわからない、過去の検体もなく、再測定していないのに2022年のグラフに出てくるのが理解できない、とのことだったので、「読み解きガイド」を作りました。この「読み解きガイド」では、それぞれ違った時期に測ったものを半減期減衰計算を行い、減衰値と残留値を計算して今残っているであろう放射能の量が分かるようにしました。もちろん実際には放射能は自然の中で雨風と共に動くので継続して測定し確かめることが大切です。データ表を付けましたので、2020年まで、2021年および2022年の減衰値と今残っているであろう残留値を数値で知ることが出来ます。

## 参加者アンケートから(抜粋)

- ◇ 物言わぬ放射能の実態を明らかにするのに重要なお仕事だと思います。2011年以降掘り起こしたりしていない野原があるなら土を定期的に測りたいです。
- ◇ 放射線量の測定は危険な場所を見つけるとともに安全な場所を確保するという二つの意義があることを改めて感じた。
- ◇ 斜面の下といってもコンクリートと草が生えているところは違うということなど、写真があったのでよりはっきりと認識することができました。
- ◇ 10年に渡る検査と分析によってセシウムなどの残留値などが可視化され分かりやすく、今だに汚染された環境に暮らしているのだと思い知らされました。
- ◇ 検体数が少ないことに会員の一人として少し責任をかんじました。セシウム 137 の半減期は計算上で30年、まだ76.3パーセント残っているとのこと。雨、風の影響を受ける自然界ではそれがどう変わっていくのか、やはり測定して残留放射能を知る方法しかないのですね。
- ◇ まとめは何度も試行錯誤された結果、この私たちの住環境に放射能が12年後のいまもあまり減らずに残っていることを可視化するものだったと思います。
- ◇ 測定を実際にやってもその結果を考察しない限り意味を見出すことができません。その意味で、測定に携わっていない人には住環境の汚染の実態が見える形で分かり、また測定ボランティアには日ごろ感じていることをきちんとまとめてもらいました。

## 2. 高性能放射能測定器EMF211 説明会

ボランティア 鵜飼 暁

2 月のお茶会で、ハカルワカル広場の新しい測定器「EMF211」の紹介をしました。僕自身、それほど技術的なことに詳しいわけではなく、測定に関心が薄い人にも理解してもらえるように、分かりやすい言葉で、実際に測定の様子を見てもらいながら説明することで、少しでも測定に興味を持ってもらえたらとの思いでした。

原発事故から10年が過ぎ、従来の測定器である「AT1320A」では、測定における下限値がおおよそ 10Bq/kg 程度であることから、土壌以外の測定で放射能が検出されることは非常に稀になりました。「AT1320A」で食品を測定しても、下限値以下の数値に関してはよく分からない為、食品の測定自体がほとんど行われていない状況が続いていたのです。ところが「EMF211」で食品を測定してみたところ、今まで見たことがないような下限値の低さに驚き、ハカルワカル広場で放射能測定を初めて行った時のような新鮮な感覚を思い出しました。下限値が低いことが、必ずしも測定自体の精度に比例するわけでは無いという指摘もあり、下限値が低いからこそ、より慎重に測定結果について判断する必要がありますが、これまで 10 年間測定を続けてきた経験が活かされているという実感がありました。



ハカルワカル広場で測定ボランティアとして活動している人たちは、放射能測定の専門家ではなく、試行錯誤を繰り返し、その都度学びながら、測定を続けています。幸いなことに、放射能測定に資格は必要ありません。目には見えない放射能が、誰でも測定器を使って測定することで数値として目で見ることができるようになるのです。自分自身で測定し、その結果について自分の頭で考え、判断する。その繰り返しによって、段々と放射能についての理解が深まっていくのだと思います。

今また、政府が原発回帰の方向に舵を切ろうとしています。僕が東北の被災地にボランティアに行った際に、現地の人々が言っていた「原発事故のことを風化させて欲しくない」との言葉を改めて思い出します。原発事故当時、あれほどテレビや新聞等のマスコミが、原発事故について嘘の情報を平気で垂れ流していたというのに、再び政治家や専門家の言うことを鵜呑みにして、原発再稼働を許してしまうのでしょうか？

プラトンの有名な譬えに「洞窟の比喩」があります。人々は、洞窟に閉じ込められた囚人として譬えられ、壁に映る影絵を世界の真実だと思い込み、外には太陽に照らされた本当の世界があることを知らずにいるという譬えです。現在に当てはめて言えば、マスメディアの嘘の情報を真実だと思い込んで、正しい判断が出来ずにいるということに通じると思います。

放射能測定自体は地味な作業で、一般の人が測定に興味を持ってもらうのはなかなか難しいのかもしれませんが、とは言え、放射能測定を通じて、自分の頭で考えることの大切さを知ることが出来るということは、貴重な経験だと思います。皆さんが、新しい測定器「EMF211」で、一度測定してみたいと思って、測定室に足を運んでくれることを期待しています。

### 説明会アンケートから

- ◇ EMF の解説は臨場感があってとても新鮮でした。測定用のパソコン画面を Zoom で共有してくれたときなど、測定室に行って実際に物を見るときよりも実際に自分がやっているような感じがしました。測定したことがない参加者にとって「測定する」ということが具体的に感じられて良かったと思います。
- ◇ 精度の高い測定器を取り入れて、食品に関して詳しい値が得られるようになったことは嬉しいことでした。やはり原発は危険なもの！再稼働などあり得ないことですな！
- ◇ EMF211 の測定の実際をカメラを通して見せてくださって、本当によくわかりました。話し方もとても聞きやすくよかったです。EMF211 は下限値が低く出るので、もっと活用したいと思いました。測定器の下限値の低さと精度の高さに関係がないというのもこれまで混同していたことがわかり、勉強になりました。

## 12月3日お茶会報告「もやい展 アートによる福島原発事故の記憶の継承」

ハカルワカル広場代表 西田照子

12月3日(土)のお茶会は久々にハカルワカル広場で開催した。中筋純さんが主宰する「もやい展」を記録したテレビドキュメンタリー作品「ザ・ドキュメント もやい 福島に吹く風」を視聴するためだ。(この作品は関西テレビの作品で、第60回ギャラクシー賞テレビ部門奨励賞を受賞した)

「もやい展」は写真家中筋純さんが主宰する「アートを通して福島原発事故を記録し伝える」美術展である。中筋さん自身はチェルノブイリや福島に通い、原発事故の惨禍を写真や映像に記録し続けている写真家である。そして2022年のもやい展は次世代に伝えることを目標に若いアーティストの参加を募った。

このドキュメントでは中筋さんに密着取材し、福島原発事故にあった人が言葉に言い表せないほどの苦しみを人との繋がりによって、乗り越えていく様子が描かれる。避難する家族が愛犬を置き去りにせざるを得ない話、家やピアノを取り壊さなくてはいけない方の話、伐採した庭の木から彫刻作品を作るアーティスト、そしてウクライナから来たマリコ・ゲルマンさんはチェルノブイリ原発事故で胎児性被ばくをし、その治療薬の使用済みパッケージをガラスブロックに詰めて芸術作品とした。日本の甲状腺がん患者がマリコさんにパッケージを届けるとき、その少女は「甲状腺がんに罹ったのは自分への罰だと思う」と語る。それに対して、マリコさんは「絶対にあなたのせいではない」と励ます。病気にかかったことを自己責任と思わせる社会を私たちは作ってしまったと強く感じさせる場面だ。

このお茶会に中筋純さんも参加され、なぜ福島を撮り続けるか、なぜ「もやい展」をやり続けるのかをお話しくださった。「原発の推進側は事故はなかったことにしたい。また人々は忘れやすいから、記録しなければ事故の惨禍は風化してしまう」と。

この度、事故の記憶をとどめるため、「おれたちの伝承館」を南相馬市の小高地区に作るのとこのことで、場所の提供も受け、もう準備が始まっている。伝承館のロゴマークも書道家真藍さんの手になる力強いものだ。国や県でなく、民間の市民の側の伝承館！ きっと多くのアーティストが自由な力溢れる作品を出品し、事故の記憶をとどめる場になるはずだ。



完成予想図：前川加奈

この作品の視聴とお茶会での中筋さんの話に次のような感想が寄せられた。(抜粋)

- ◇ 子どもと飼い犬を選択させるなんて、あまりに残酷すぎます。元凶になっているのは原発の存在そのもので、「原子力産業」とは「悲しみ製造業」であることを改めて認識しました。
- ◇ 福島事故の不条理をどのように残し、伝えていくのかという大きな課題を前に、中筋さんが言ったのは「種を撒く」という言葉でした。まさに種を撒き続けるもやい展だと思いました。
- ◇ もやい展で一番印象的だったのは、被災地で拾い集めたかけらを透明なケースに入れて場所などの情報をつけて並べた展示でした。青い模様に入った茶碗のかけらが、たしかにそこにあった生活を甦らせてくれます。



何となく

## 電気料金値上がりの仕組みはわかった。ではこれからどうすれば？

ボランティア 石井暁子

昨年 10 月のお茶会でグリーンピープルズパワー(株)の竹村英明さんに電気料金の値上げについて講演していただきました。その後、内容が難しかったとの声があったので1月のお茶会はその復習の会にして、FoE Japan の吉田明子さんにご参加いただきみなさんの質問に答えていただきました。そこで電気を売買する仕組みや制度に問題があること、発電と送配電、小売、の分離が不完全なため大手電力会社に有利に取引が行われ、新電力は不利な立場に置かれていたところに燃料価格の高騰が起こり、採算が合わなくなった新電力が次々に撤退していることなどがわかりました。

今回教えていただいて思ったのは、やはり電気の話は難しいということです。聞きなれない言葉(JEPX 市場、特定卸、売入札ルール、約定価格、インバランス料金など)がたくさん出て来ますし、以前わかったと思っていたことも、ルールが変わって今は違っていたりと、なかなか話についていけないのです。

ただ、わからないながらも、環境にできるだけ負荷をかけないエネルギーが増えて行く方向に制度が変わって行ってくれることを願っているのですが、「脱炭素社会実現のためにやはり原発を利用しよう(再稼働、新增設、建て替え含む)、原発の運転期間(今は原則 40 年、最長 60 年)を、停止期間を除外できるようにして実質 60 年を超えて運転ができるようにしよう」などという方針(GX 基本方針)が打ち出されてしまったのですから心底がっかりです。

こういう状況では制度がよい方向に変わるのをただ待っているわけにもいきません。竹村英明さんも講演の最後に、市場がまともになるのを待ってはられない、脱 FIT・脱市場プログラムに切り替える、とおっしゃっていましたし、吉田明子さんも、市場価格が高騰しているこの危機こそ、地域に根差した再エネを増やすチャンスだ、とおっしゃっていました。それでは、私たち個人は何をすればよいのでしょうか。

電気料金は確かに上がっています。新聞のコラムに、使用料は前年同月に比べ 20%も減ったのに、料金は 1.5倍に増加していたとありました。使用料を減らしても値上げがそれを上回ってしまうのです。4 月からは大手電力9社が家庭向け電気料金を値上げするというニュースもありました。政府による電気、都市ガスの料金に対する支援策が 2 月検針分から始まったようですが、これはあくまで「電気・ガス価格激変緩和対策」であり一時的なものです。

今後も光熱費が上がっていくであろうことを考えると、今は思い切って更なる節電対策をしたり、エネルギーの自給自足に向けてもう一步踏み出すのによい時期と言うこともできるかもしれません。

考えてみれば、福島原発事故の後、とにかく電気使用料を減らそうと遮二無二節電した時期がありました。その時オフグリッド(電力を自給自足する生活)にあこがれはしたのですが、屋根の向きが太陽光発電に不向きだったり工事が必要なこと、バッテリーが高額で大きい、などの理由で足踏みしてしまいました。そしてある程度の節電が定着し、電力不足もあまり言われなくなり、電力自由化により再エネの新電力に電気を切り替えたところで満足してしまっていた気がします。

いま、改めてオフグリッドや蓄電池のことを調べると、新しい機器やオフグリッドを実践している方のノウハウ、地域の面白い取り組みなどをたくさん見つけることができます。会員の中にも、すでに実践している方がいるかもしれません。節電、省エネのアイデアやオフグリッドを実現するための情報などがあれば、ぜひハカルワカル広場のお茶会で話してください。みなさんで情報を共有し、一緒に学び実践していきましょう。



## 【エネルギーを自給自足するための情報】

- \* 藤野電力:自然や里山の資源を見直し、自立分散型の自然エネルギーに地域で取り組む活動。ミニ太陽光発電システム組立ワークショップ、部分オフグリッド、市民発電所(独立型発電設備、無料の自然エネルギー充電ステーション)等 <https://fujino.pw>



- \* 部分オフグリッド:太陽光で自家発電した電気を、家の中の自分で決めた場所で使う。居間だけ、子供部屋だけなど。節電、停電対策になる。
- \* 家庭用蓄電池:多くのメーカーから高性能でコンパクトな蓄電池が出ています。固定価格買取期間が終わってしまうと、売電するよりも買わずに自家消費した方が得になるため蓄電池に溜めた電気を使う方法が注目されているようです。価格を見るとやっぱり高い(工事費込みで 150~300 万円が相場とか)けれど、災害時の停電にも役立つと思うと価値はあると思います。
- \* ポータブル蓄電池:アウトドアでも使えるコンパクトな蓄電池と折りたたみ式の太陽光パネルがセットで売られています。これを家で使うのもいいです。私は昼間ベランダで充電して、スマホや PC を充電したり、夜、デスクライトに使用したりしています。昼間の太陽の光を夜使っている感じが楽しいです。
- \* 太陽熱利用:現状、太陽光発電の発電効率は 10%程度。一方、太陽熱利用で水をお湯に変える変換効率は 40~60%程度にもなります。太陽熱利用の方がエネルギーを無駄なく効率的に使うことができるわけです。太陽熱利用により、光熱費(ガス代)削減効果と、CO2 排出量削減効果が期待できます。
- \* 真空管太陽熱温水器:太陽熱温水器も進化していました。従来の平板式に比べ真空管式太陽熱集熱器は外気温に影響されにくいいため、冬場でも高温の熱を回収できるそうです。エネルギー変換効率は 50~60%。太陽光発電に比べ初期費用が安く早く元が取れそう。
- \* ソーラークッカー:太陽熱利用の調理器です。真空管チューブ型、パラボラ型、蓄熱ボックス型、パネル型などがあり、値段は 1,000 円から 30,000 円超えまでまちまちです。レシピは焼き芋のほか煮込み料理やオーブン料理に向いているようです。ネットでレシピを検索すると、ミネストローネやプリンなども出て来てさっそく作ってみたくなりました。



子どもの自然エネルギー教室では、銀紙でソーラークッカーを工作して焼き芋などを調理し、自然エネルギーってすごい！を学びます。

<p>4月2日お茶会 「10年目の土壌測定プロジェクト報告書」学習会 (講師:佐々木晃介さん)</p>	<p>5月7日お茶会 『旅するラディオ』刊行記念 朗読&amp;お話し (二宮さん、イズミコさん、 西田さん、石井さん ほか)</p>	<p>6月4日(土)2022年度総会</p>
<p>7月2日お茶会 「原発を並べて自衛戦争はできない」 (講師:小倉志郎さん)</p>	<p>9月3日お茶会 「暮らしと憲法、原発と憲法」 (講師:くぼいなみさん)</p>	<p>10月1日お茶会 「電気料金続々値上げ いったい 何が起きているのか？」 (講師:竹村英明さん)</p>
<p>11月5日お茶会 「かくれキニシタン」の上映 (監督 関久雄さんのお話し)</p>		<p>12月3日お茶会 ハカルワカル広場での 会員交流会 (ゲスト 中筋純さん)</p>
<p>1月14日お茶会 10月1日の「電気料金 続々値上げ～」の復習会 (解説 FoE Japan 吉田明子さん)</p>	<p>2月4日お茶会 測定室プロジェクト発表会 11年目の土壌プロ 佐々木晃介 高性能測定器 EMF211 鶴飼暁</p>	<p>3月5日映画会 「原発をとめた裁判長」 北野市民センター</p>



### 2022年12月お茶会・会員交流会

久しぶりにハカルワカル広場に集まり、みなさんとザ・ドキュメント『もやい 福島に吹く風』を観ました。

みなさんの顔が見えるお茶会は良いですね。



### 3月5日 映画会

#### 「原発をとめた裁判長」

「我が国の原発の耐震性は極めて低い。よって原発の運転は許されない」との明快な判決に胸のすく思いでした。何度も拍手や笑い声が沸き上がり、反応も鮮やか。視聴後、皆さんが笑顔で「いい映画でしたね!」と言ってお帰りになりました。



## 測定室からのご報告とお知らせ

- \* 11月5日(土) 11月お茶会 映画「かくれキニシタン」の上映と関久雄監督のお話し会  
佐渡島の「へっついの家」で毎年行われる保養合宿。その記録が映画「かくれキニシタン」だ。保養にきてはじめて「被ばくを気にしていること」を語れるという親たち。この映画を見て福島のような「分断」を感じる方も多いと思う。詳しくは巻頭記事をご覧ください。  
(参加者:オンライン33名 会場3名 計36名)
- \* 12月3日(土) 12月お茶会『ザ・ドキュメント』を中心に会員交流会  
「ザ・ドキュメント もやい 福島に吹く風」を視聴後、中筋純さんも参加されお話し会。久しぶりの対面でのお茶会で、オンラインより広角度に人の表情や反応が感じられ、「やはり対面はいいね」の声しきり。詳しくはP.8の「報告」をご覧ください。準備中の「おれたちの伝承館」も応援よろしく！  
(参加者:会場28名)
- \* 1月14日(土) 1月お茶会「電気料金続々値上げ～の復習の会」  
電気料金の仕組みは難しく、10月に引き続き、再度復習をしたいとの希望で、FoE Japanの吉田明子さんをお迎えして、Q&A形式で復習をした。再エネ普及のために私たちにできることは何か？ 詳しくはP.9～10をご覧ください。  
(参加者:オンライン19名 会場6名 計25名)
- \* 2月4日(土) 2月お茶会「11年目の土壌プロジェクト報告会とEMF211の紹介」  
福島原発事故から12年が経ち、環境中の放射能はどうなっているのか。測定し、減衰計算で算定しながら身の回りの放射能の実態を見える化するプロジェクトの報告会をしました。11年目のまとめは皆様に会報とともにお届けします。また、精度の高い測定器EMF211の紹介もしました。  
(参加者:オンライン25名 会場5名 計30名)
- \* 3月5日(日) 映画会「原発をとめた裁判長」  
久々のリアルな映画会を北野市民センターで行いました。小原浩靖監督も飛入り参加して下さり大いに盛り上がりました。多くの方にご参加いただき、成功裏に終わることができました。(観客数:191名)
- \* 【ご報告】新宿御苑への放射能汚染土持ち込みに反対する署名は212筆を届けることができました。環境省は年度内の実証事業は見送りとの回答をしました。皆様のご協力のおかげです。感謝しご報告いたします。  
詳細:<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230225/k10013990461000.html>

金八デモ実行委員会より

3月10日の金八デモ(416回目)では「311を忘れない」デモをしました。あの福島原発事故から12年。事故の収束も被災者の救済も進んでいないのに、政府は原発回帰へ舵を切っています。人々の苦しみの元凶たる原発は要らないと訴えてデモをしました。これからも次世代に原発のない社会を手渡そうと訴えていきます。



これからの予定

オンライン・アクセスが難しい方は直接ハカルワカル広場へおいで下さい。

- \* 4月1日(土)4月お茶会…対面のみ。ハカルワカル広場で3月の映画「原発をとめた裁判長」について
- \* 5月13日(土)5月お茶会 内容は「未定」
- \* 6月3日(土)2023年総会
- \* 7月1日(土)7月お茶会「原発訴訟について」(仮題)・講師 塚本和也弁護士

会員が減って困っています。  
お知り合いをご紹介ください！

「311子ども甲状腺がん裁判」原告支援カンパのお願い  
原告の若者たちと一緒に応援しませんか？

振込口座が変更になりました。次へお願いします。  
「三菱UFJ銀行 四谷支店(店番 051)  
口座番号:0549130  
口座名義:311甲状腺がん子ども支援ネットワーク

ハカルワカル広場は維持会員の会費とボランティアで運営されています。

ハ王子市民放射能測定室  
**ハカルワカル広場**  
〒192-0053 東京都八王子市八幡町 5-11 八中ビル 2F  
お電話 問合せ **042-686-0820**  
HP: <http://hachisoku.org> メール: [hachisoku@gmail.com](mailto:hachisoku@gmail.com)

**ボランティア、維持会員募集中!**  
お問い合わせはハカルワカル広場まで  
受付も大歓迎です! ゆうちょ銀行 00180-8-290904 (八王子市民放射能測定室)  
他行からの振込は 018-0224460 (八王子市民放射能測定室)